

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成 25 年 3 月 28 日 (2013.3.28)

【公開番号】特開 2009-2946 (P2009-2946A)

【公開日】平成 21 年 1 月 8 日 (2009.1.8)

【年通号数】公開・登録公報 2009-001

【出願番号】特願 2008-153672 (P2008-153672)

【国際特許分類】

G 2 1 C 17/003 (2006.01)

【F I】

G 2 1 C 17/00 G D B E

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 2 月 7 日 (2013.2.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

原子炉を検査する検査装置 (200) において、  
 第 1 の軌道 (204) と、  
 1 つ以上の第 2 の軌道を含むアーム (202) と、  
 固定装置 (206) と、  
 エフェクタ (208) と、  
 を具備し、  
 前記アーム (202) は前記第 1 の軌道 (204) に動作自在に結合され、  
 前記 1 つ以上の第 2 の軌道のうちの少なくとも 1 つは少なくとも 3 つの軌道部分を含み、  
 前記固定装置 (206) は前記第 1 の軌道 (204) に動作自在に結合され、  
 前記エフェクタ (208) は前記アーム (202) に動作自在に結合され、  
 前記アーム (202) は収縮長さを有し、  
 前記アーム (202) は伸長長さを有し、  
 前記伸長長さは前記収縮長さの 2 倍を超えること、  
 を特徴とする検査装置 (200)。

【請求項 2】

前記第 1 の軌道 (204) は、前記第 1 の軌道 (204) に対して前記アーム (202) を移動するように構成される 1 つ以上のモータ (1200、1202、1204) を具備することを特徴とする請求項 1 に記載の装置 (200)。

【請求項 3】

前記第 1 の軌道 (204) は、前記第 1 の軌道 (204) に沿って前記アーム (200) を移動するように構成される 1 つ以上のモータ (1200、1202、1204) を具備することを特徴とする請求項 1 に記載の装置 (200)。

【請求項 4】

前記第 1 の軌道 (204) は、前記アーム (202) と前記第 1 の軌道 (204) との動作自在の結合部に対して前記アーム (202) を移動するように構成される 1 つ以上のモータ (1200、1202、1204) を具備することを特徴とする請求項 1 に記載の装置 (200)。

**【請求項 5】**

前記第 1 の軌道 ( 2 0 4 ) は、前記第 1 の軌道 ( 2 0 4 ) に対して前記アーム ( 2 0 2 ) を回転するように構成される 1 つ以上のモータ ( 1 2 0 0 、 1 2 0 2 、 1 2 0 4 ) を具備することを特徴とする請求項 1 に記載の装置 ( 2 0 0 ) 。

**【請求項 6】**

ケーブル管理システムを更に具備することを特徴とする請求項 1 に記載の装置 ( 2 0 0 ) 。

**【請求項 7】**

前記エフェクタ ( 2 0 8 ) は 1 つ以上のセンサを具備することを特徴とする請求項 1 に記載の装置 ( 2 0 0 ) 。